

第5回 JEAC4111 普及タスク 議事録

1. 日 時 初 日 平成 18 年 2 月 15 日 (水) 13:00 ~ 19:45
二日目 平成 18 年 2 月 16 日 (木) 9:30 ~ 18:30

2. 場 所 初 日 日本電気協会 4 階 D 会議室
二日目 電気倶楽部 第 3 会議室

3. 出席者 (五十音順, 敬称略)

出席委員: 渡邊 (邦) 主査 (東京電力), 伊東 (三菱原子燃料), 大石 (東京電力), 小宮山 (グローバル・ニュークリア・フューエル・システム, 二日目), 齋藤 (三菱電機), 芝原 (日立製作所), 島津 (北海道電力), 首藤 (電源開発), 鈴木 (中部電力), 竹添 (九州電力), 辰巳 (北陸電力), 古川 (日本原子力発電), 増田 (四国電力), 溝内 (関西電力, 二日目), 米田 (原子燃料工業, 二日目), 渡辺 (雅) (原子力安全基盤機構)

代理委員: 石井 (日本原子力研究開発機構 渡邊 (勝) 代理), 清水 (三菱重工業 今村代理, 二日目), 渡辺 (淳) (中国電力 吉岡代理)

事務局: 長谷川, 国則 (日本電気協会)

4. 配付資料

資料 No.5-1 第 4 回 JEAC4111 普及タスク議事録 (案)
資料 No.5-2 JEAC4111 講習テキスト [全体グループ]
資料 No.5-3 JEAC4111 講習テキスト [グループ 1: 4 ~ 6 章]
資料 No.5-4 JEAC4111 講習テキスト [グループ 2: 7 章 7.1, 7.2, 7.5]
資料 No.5-5 JEAC4111 講習テキスト [グループ 2: 7 章 7.3, 7.4]
資料 No.5-6 JEAC4111 講習テキスト [グループ 3: 8 章 8.1, 8.2]
資料 No.5-7 JEAC4111 講習テキスト [グループ 3: 8 章 8.3, 8.4, 8.5]
資料 No.5-8 JEAC4111 講習テキスト [総括]
資料 No.5-9 JEAC4111 講習会アンケート (案)
参考資料 No.1 講習のポイント
参考資料 No.2 JEAC4111 意見対応 (平成 17 年 9 月 26 日付け / 12 月 5 日付け意見)
参考資料 No.3 第 14 回品質保証分科会議事録 (案) - 抜粋 -

5. 議事

- (1) 前回議事録について

資料 No.5-1 に基づき, 事前に委員に配信し一部コメントを踏まえ修正済みの前回議事

録案が紹介され，本内容で了承された。

(2) 講習内容について

資料 No.5-2～5-8 に基づき，講師予定者が講習のリハーサルを実施し，テキスト内容を確認した。以下に主に共通事項を含むテキストの修正点を記載する。（スライド個別の内容は省略。）なお，修正版のテキストファイルは，2/22（水）までに事務局に送付し，事務局で確認終了後製本を開始することとした。また，講師予定者を中心に，2/27（月）午後 1 時半より最終確認を行う会議を開催し，必要があれば講習会当日の講習内容に反映させることとした。

- ・ 配付テキストは白黒コピーであり，強調する部分には下線を引く等の手当てをする。
- ・ 統一したテキスト様式を守るよう，「要求事項」を「JEAC4111 要求事項」に変更する等の修正をする。
- ・ 文章が多すぎる部分は，箇条書きにするなどの工夫を施す。
- ・ 関係省令の記載は，原則不要とする。
- ・ 該当する部分では，「ISO」の記載は「ISO9001」とする。
- ・ 不足している箇所は，コース 向けの内容を追加し，また事例も増やす。
- ・ 例示の内容に，「・・・しなければならない」，「・・・必要がある」等の表現は使わない。
- ・ 全体チームのテキストに，解釈明確化チームの活動に関する記載を追加する。
- ・ テキストの章毎に，目次を記載した色紙の中表紙を含める。
- ・ テキストのフッターの記載を，日本電気協会原子力規格委員会品質保証分科会とする。（事務局対応。スライドのテンプレートを修正。）

(3) 講習会アンケートについて

資料 No.5-9 に基づき，講習会アンケート案を確認し，以下の修正を行うことにした。

- ・ 意見記入欄はアンケート用紙には設けず，「5.ご質問について」に記載した質問同様に，意見があれば質問記入シートに記入し電子メールで送付してもらうよう，説明を追加する。
- ・ 質問・意見の送付は，まずは終了後 2 週間程度の〆切とし，ただしその後も質問・意見があれば受け付ける旨の説明を追加する。

(4) 試験および修了証について

今後，試験の要否やその内容，可否の判定要否やその方法，修了証の位置付けや様式などに関してコース毎に決める必要があるが，今回は試行的にコース ， を包含する内容での開催であり，将来との整合性も考慮する必要があるため，試験および修了証の発行は行わないこととした。

以 上